

自己評価結果公表シート（令和2年度）

はのうら幼稚園

1、本園の教育目標

“豊かな環境から育まれる豊かな心、一人ひとりの創造性を育てる”を教育の柱とし、幼児期にふさわしい環境を与え、幼い子どもたちが身近な体験を通して生きる力の芽を育み、人や自然を大切にする心、を育成する。

教育目標

- ・生活習慣の基本を身につける（言葉、挨拶、食事、排泄、着脱衣）
- ・物事に対する興味や関心を育て、意欲的、創造的に取り組む力を養う
- ・自分を表現する喜びを感じ、相手の気持ちを理解する心を育てる。

2、本年度、重点的に取り組む目標・計画

改訂された幼稚園教育要領を基に幼児実態に合わせた教育課程を再編成し、教職員全員の共通理解や資質向上に努めるとともに、保護者とのコミュニケーションをはかり、子どもの主体性を大切にする環境を構成する。

3、評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
幼稚園の教育課程を踏まえ、園の教育理念・教育方針に従い編成する。	・1学期が自由登園となり集団活動が制限される中、教育課程に基づく行事の在り方や見直しを行う機会となり、今後の幼稚園活動の振り返りができた。
幼児の主体性を育む保育環境のあり方	・実態に合わせた指導計画や発達記録を作成するとともに、子どもの主体性を大切にされた適切な環境の構成について職員会議や学年会議等で話し合い、共通理解に努めている。
保育の質の向上につながる職員研修の充実	・令和2年度は新型コロナ禍の中園外研修が中止となり、思うように研修が受けられなかったが、リモート研修やビデオ研修など新たな研修の在り方に取り組めた。

4、学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結 果	理 由
B 達成されている	コロナ禍での子どもの育ちをどう担保していくかを考える中、しぜん体験保育の公開保育やネイチャーゲームなどを行い、環境教育への取り組みができ、来年度以降へ繋がっていくと考えられる。

5、今後取り組むべき課題

課 題	具 体 的 な 取 組 方 法
感染防止と日常生活の在り方	昨年度、感染防止対策として手指消毒・衛生管理・室内空間の換気等を行ってきたが、子ども同士が群れてあそぶことが幼児教育の中では大切であり、今後その育ちと感染予防の線引きをどのように行っていくか、感染状況を考慮しながら柔軟に対応していきたい。
SNS等の利用方法	SNS が広く使われる中、その便利さがゆえに個人情報等が園内から拡散されることが懸念されている。保育者はもちろんだが、保護者にも園内撮影やグループラインでの個人情報の取り扱い方を周知していく。

6、学校関係者の評価

評価項目

- ・ 自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・ 自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・ 学校関係者評価アンケートの考察

意見

出席評議員からは概ね良好な運営をされ、また学校評価にも積極的に取り組まれているという意見をいただいた。

7、財務状況

公認会計士監査により、適性に運営されていると認められている。